

認知症高齢者行方不明時における検索ツール活用に関する研修会（南丹圏域）

開催概要

- 1 日時 令和2年1月21日（火） 14時～16時45分
- 2 会場 南丹保健所 講堂
- 3 対象者 市町村の認知症施策担当者、地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、保健所及び地域包括ケア推進ネットの職員、京都府警察本部・各警察署担当者、SOS ネットワーク協力機関等
- 4 目的 認知症高齢者等が行方不明となった際、早期に手がかりを収集し、保護に繋げることが重要とされている。
今回、行方不明者を早期発見・保護するための検索ツールの1つである“みまもりあい”アプリについて関係者が学習するとともに、地域のSOS ネットワーク運用の検証及び関係機関の連携強化を図る。

5 内容

時間	内容
14:00～14:05（5分）	1 挨拶・オリエンテーション
14:05～15:35（90分）	2 講演 「検索アプリ“みまもりあい”の活用について（仮）」 一般社団法人セーフティネットリンケージ 代表理事 高原達也 氏
15:35～16:05（30分）	3 アプリ操作体験等 ① “みまもりあい”アプリ操作体験 ②他地域での実践の様子（ビデオ視聴） 一般社団法人セーフティネットリンケージ 代表理事 高原達也 氏
16:05～16:15（10分）	休憩
16:15～16:45（30分）	4 意見交換「現在運用している見守りネットワークを振り返る」

※研修内容は、一部変更となる場合がございます。

◇一般社団法人セーフティネットリンケージ (<http://mimamoriai.net/>)

誰かの「助けて欲しい」という緊急に対し、「地域にいる協力者を募って、皆で助け合える仕組みを作りたい」という思いから、互助支援システムを使った「みまもりあいプロジェクト」に取り組む。プロジェクトによる多世代型の見守り訓練は昨年度全国で70ヵ所、若いご家族を中心に約1万人が参加。

（東京大学主催アーバンデータチャレンジ金賞、2018年グッドデザイン賞、東京都商店会グランプリ優秀賞、一般社団法人認知症ケア学会石崎賞（令和元年）等多数受賞）